

プレスリリース [令和3年3月15日]

(計 1 枚)

加賀市と台湾との交流事業に携わっていた 地域おこし協力隊が、任期の終了後、 加賀市に定住し、日台交流の会社を起業し、 加賀市の発展に貢献します

昨年末まで加賀市地域おこし協力隊として活動していた王 立中（おう りちゅう）さんが、加賀市にて日本と台湾の幅広い交流を目的とする、合同会社「日月台（にちげつたい）」を起業しました。

王さんは協力隊員として、台湾の大学を対象に加賀市を紹介するツアーを企画したり、台湾の文化を紹介するイベントを加賀市で開催するなど、加賀市と台湾において幅広い分野の交流事業を行うことで、台湾からのインバウンド誘致に貢献していました。

この起業に対し、加賀市は「加賀市地域おこし協力隊起業支援金」を交付し、法人の活動を支援します。加賀市は、海外からの宿泊客数で台湾からの比率が最も高く、コロナ終息後、台湾からの更なるインバウンド誘致の促進が期待されます。

また、この法人には共同代表として、加賀市出身で現在市内に飲食店とギャラリーの2店舗「Fuzon」を運営する山根 大徳さんが参画します。

駅のホームのことを台湾では「月台」と表すことから、日本と台湾を結ぶ新たなプラットフォームをイメージし、人・物・知識といった様々なテーマに関して、既存の交流の幅を広げる様々な活動を行います。まずは今後、台湾の大学生を対象とした加賀市のワークショップを行い、双方の交流の促進を行います。

【法人概要】

名 称：合同会社 日月台（にちげつたい）

所 在 地：加賀市大聖寺魚町 21（Fuzon café 2階）

連 絡 先：0761-75-7340（山根）

予定事業：台湾の大学生を対象とした加賀市のワークショップ

地場産品を扱う日台物産展

台湾の食を加賀市で提供する「台湾ティールーム」 等

本件へのお問合せ先
加賀市市民生活部人口減少対策室 担当：山野 TEL 0761-72-7840